

蜂の生態を学ぼう



富谷市役所屋上で養蜂に挑戦しているものだ。

平成29年4月には「とみやはちみつプロジェクト推進協議会（村上幸枝代表）」が設立され、市民協働による養蜂のサポーターを募集するこの取り組みは今年で2年目を迎えた。

この日は富谷市民20～70代の18名（新規5名，継続13名）が1年間のプロジェクトの取り組みや巣箱の観察や手入れ，採蜜作業の説明のほか，活動するときには身につける防護服や，蜜入りの巣枠を一人ひとり手に取るなどして，興味津々な面持ちで参加していた。



各地の話題

富谷市

2018年4月20日 全国農業新聞

3月28日（水）富谷市役所で、「とみやはちみつプロジェクトサポーター説明会」が開催された。

このプロジェクトは、地元を拠点に自然再生活動などに取り組むNPO法人「SCR」のメンバーが中心となり平成28年10月の市制移行を機会にスイーツを通じた新たなシティブランドの確立を目指し、



昨年採れたはちみつも試食し「おいしい」と歓声が響いた。参加者は屋上に設置された巣箱も見学し，4月からの本格活動に希望や期待を胸に一致団結して取り組もうと決意を新たにしていた。

「これからは、ミツバチへの恐怖感や抵抗感が少しでも薄れるためには養蜂の知識を身につける勉強会が必要であり、さらにミツバチの生態から蜂蜜作りまで市民の方と一緒に勉強し、長く続けられるプロジェクトにして、将来的には『みつばちの郷』として浸透させたい」と、市役所農林振興課佐藤純一主幹は語る。

【記事提供：富谷市農業委員会】